

特色ある学校づくり推進事業通信

豊松小学校

R7.9.29(月)

第3号

文責 鈴木尚子

「特色ある学校づくり推進事業」とは、本校が特色ある教育を行っていくために、市から予算をいただいて活動している事業です。4月から7月までの取組についてお知らせします。

ササユリの保護活動を行いました

本校では、毎年6年生が、総合的な学習の時間にササユリの保護活動に取り組んでいます。ササユリは西日本に多く生息するユリの原種で、生育が遅く種子から開花するまでに7年から8年かかるといわれ、手入れをしていないところでは自然に見ることが困難な植物です。

今年度より高学年は複式学級になったため、5・6年生で取り組みました。学習の導入として、地域で長年ササユリの保護活動に取り組んでおられる中根様を講師としてお招きし、ご講話いただきました。ササユリの保護活動を始めたきっかけやササユリの保護活動における苦労や喜び、後継者問題等について、丁寧に教えていただきました。

ササユリについて理解を深めることができた子どもたちは、次に学区にある「古美山園地」に出かけ、中根様からササユリの見分け方を教えていただきました。ササユリとササの見分け方がわかるようになってきたと笑顔で語る子どもたちの姿がとても印象的でした。

そしていよいよ、学校内の個体数調べです。個体を探して咲いている場所にポールを立てる活動をしながら校内地図に場所を書き記します。中根様に教えていただいたおかげで1年目の葉も見分けられるようになり、昨年の80本を大幅に超える200本以上のポールを立てることができました。

このように先輩たちから受け継がれているササユリの保護活動を続けることは、地域の自然を守り、地域を愛する活動につながっています。学習した内容を下級生に発表した5・6年生。学習のまとめとして、保護者や地域の方に伝えるための準備を進めています。

